

スタッフ間で開催ノウハウを共有し 各店に広げるイベントの輪



「いまさら聞けない薬の話」の講演をする明石氏

健康ナビゲーターとしての姿勢を貫く

ラダの状態チェック」と「薬局北参道」「同青山」して、来場者の骨密度や「同六本木泉ガーデン」

「自分」血管の状態、内臓脂肪量、の健康を筋肉量などを測定し、数見つめ直値を見ながら管理栄養士す良い機が食事改善や体調管理を会になっアドバイス。このほか薬剤師が「いまさら聞けない薬の話」、管理栄養士すのは健が「毎日の食事で認知症康相談会「予防」と題した講演を行に参加しい、来場者から好評を得た80代のた。

女性。カ 同イベントは、「薬樹

「同虎 同開催6店舗以外からもが理想だという。の門」同管理栄養士が参加麻布十しており、「イベ番」「スントを経験したこロースタとがない若手スタッフにも開催ノウハウを習得して欲kō」の「明石氏は二つ目の舗による意義を話す。合同開ここで得た知識催。本部を、参加した薬剤師と管理栄養士は、各店舗が、地



体組成計などでさまざまな数値を測り、身体の状態を知ってもらう



行政や政府は、高騰する社会保障費を抑制し、皆保険制度の維持を目指していることから、健康保険をビジネスモデル

自社内のモチベーション向上にも一役

店舗から飛び出し情報発信

今回、埼玉県草加市や千葉県船橋市といった存在感を強化していくの

が理想だという。

参加した管理栄養士は「先輩の薬剤師や管理栄養士が、来場者に健康提案をしているのを聞いているだけでも勉強になる。共有した情報を生かせば明日からの仕事に役立つ。ヘルプアップする」とやる気をみなぎらせる。

た。

「健ナビゲーターとしての姿勢を貫く」

2月27日、首都圏を中心に「薬樹薬局」や「健ナビゲーター薬局」などを展開する薬樹（本社神奈川県）が、東京都港区と渋谷区に展開する6店舗合同で、地域住民を対象とした「健康相談会」を麻布十番会館（東京都港区）で開催し、来場者から好評を得た。同イベントは本部主導ではなく、店舗勤務の薬剤師と管理栄養士からの立案で実現。イベントを経験したことがない若手スタッフも参加し、開催ノウハウを共有、今後各店舗が「地域薬局」としてイベントを開催し、地域住民の健康をサポートしていく。

薬 樹 店舗主導で「健康相談会」実施!! 地域密着に加え医療機関と連携するきっかけに

和氏（虎の門）と管理栄養士（虎の門）は、従事する管理栄養士の関係性が「頼れる健康相談窓口」としての価値を高め、最終的には「かかりつけ」になる。自らが積極的に「地域密着」をキーワードに「お世話になっている薬局が企画を開催する」と聞いて駆けつけた。今日は「お客さまの健康QOLをアップさせる」とともに、自店が地域包括ケアの一環として成長できる機会と普段から口にするように思っている。地域の医療機関と連携するきっかけにもなる（明石氏）。

「開催意義は二つある」

「かかりつけ薬剤師」地域住民と薬局（薬剤師や管理栄養士）の関係を

面（明石氏）は「健康相談会」を開催し、お客さまの健康QOLをアップさせる」とともに、自店が地域包括ケアの一環として成長できる機会と普段から口にするように思っている。地域の医療機関と連携するきっかけにもなる（明石氏）。



測定後は管理栄養士から食事改善の提案などを受ける